

未来バンクの現状

未来バンク事業組合 理事長 田中 優

1. 貯蓄の加害性

私たちの郵貯は何に使われてきたか。環境を守る運動は、「もぐら叩き」にすぎない？
世界で起きている貧困問題、ODA問題と私たちの貯蓄の関係

2. 金融の中央集権

カネは東京に集められ、東京で使い道が決められる。このことが地方を貧しくし、引いては東京依存・過疎化を招く。

3. カネをめぐる運動

社会的責任投資、エコバンク、マイクロクレジット、地域通貨、市など・・・

4. 金利という虚構

2001年度事業報告(案)

2002年5月26日
未来バンク事業組合事務局

1. 組織

未来バンク事業組合は、民法667条に基づく組合として1994年4月5日に設立しました。2002年3月31日現在において、組合員は317人、出資金は103,730,081円に達しております。理事は定員7人に対して6人が就任し、監事は定員1人に対して1人が就任しております。

また、未来バンクの融資部門として未来舎を1994年7月11日に設立しました。未来舎も民法667条に基づく組合として設立され、2002年3月31日現在において組合員3人、出資金95,396,587円に達しております。そのうち、未来バンク事業組合の出資金は95,393,587円になっております。

2. 事業概要

(1) 概要

1994年4月5日に設立され、1994年7月10日に早稲田奉仕園で実質的な旗揚げを行った当組合も7期目を迎えました。7期目に入っても、マスコミ報道、口コミを通して組合員は徐々に増え、2002年3月末時点で組合員317人、出資金1億円を突破しました。未来バンクの融資部門として設立した未来舎は引き続き融資業務を行いました。

(2) 融資事業

融資事業は未来舎を通して実施しております。未来舎は東京都知事に対する登録を行っているため、営業店は東京都内にしか設置できませんが、融資は全国的に行うことができます。

2001年度の新規融資は29件のうち5件は個人に対する融資で、2件は太陽光設備設置助成までのつなぎ融資、3件は共済融資でした。また20件はNGO、NPO(非政府組織、非営利組織=市民団体)に対する事業融資、4件は民間企業に対する事業融資でした。融資総額は、85,432,372円で、2001年度までも含めた累計は420,178,535円と、4億2千万円を突破しました。

なお、これまでのところ貸倒れはありませんが、昨年度から返済の遅れのある融資が1件(融資額1,000,000円、うち未返済残高552,531円)発生しています。

(3) その他の事業

また、ニューレターは第23号(2001年4月)から第26号(2002年1月)の4号を発行しました。

3. 決算の概要

通信費を中心とした費用が154,588円であったのに対して、事業収入、その他の収入、未来舎業務委託収入の合計が352,726円で、198,138円の当期利益を計上しました。

また、未来舎においては、金利収入が1,594,001円と伸びたため、1,335,713円の当期利益を計上しました。なお、上に述べた返済の遅れにより、今期は貸倒引当金を計上しております。